



vol.10 廣江彩乃さん

みなさんは、世界の第一線で活躍されている女性プログラマーの方々をご存知でしょうか？ JOI情報オリンピック日本委員会が実施する「先輩に聞く！プログラマーへの道しるべ」では、プログラミングやその周辺の技術や知識を使って活動している女性の先輩方に、お仕事内容や学生時代についてのお話を伺っていきます。

第10回目に登場いただくのは、EGOI 2022の随員を務めた、お茶の水女子大学 修士課程2年の廣江彩乃（ひろえ・あやの）さんです。聞き手はJOI情報オリンピック日本委員会理事で東京大学の山口利恵が務めます。ぜひみなさんの進路の参考にしてみてくださいね。



EGOI 2022 随員／お茶の水女子大学 修士課程2年 廣江彩乃さん

トルコの南部アンタルヤで行われたEGOI 2022

山口 今回は、通常の「先輩に聞く！」の内容とは少し異なり、2022年のEGOIの様子についてレポートしていこうと思います。そこで、随員を務めた廣江さんに、当時のお話を伺っていきます。廣江さん、どうぞよろしくお願いいたします。

廣江さん EGOIとは、The European Girls' Olympiad in Informatics（ヨーロッパ女子情報オリンピック）の略称になります。今回が2回目の開催でした。

山口 トルコのアンタルヤという場所で行われたそうですね。アンタルヤはこの赤いピンの部分です。トルコで有名なのはイスタンブールですが、このアンタルヤはそれよりも南の方にありますね。



廣江さん 日本で言うところの沖縄と聞いたことがあります。トルコのリゾート地です。

山口 EGOI 22のスケジュールについても教えていただけますか？

EGOI2022 選手日程表

	月日		主な内容	宿泊
1	10月15日	土	17:00 集合, 壮行会/直前研修 (TK199 : 羽田 22:05 →)	機内
2	10月16日	日	(TK199 : → 05:15 イスタンブール) (TK2410 : 08:40 イスタンブール → 09:50 アンタルヤ) 大会受付	アンタルヤ
3	10月17日	月	09:00-12:00 プラクティスセッション 12:00-13:00 ディスカッション 17:00-19:00 開会式	アンタルヤ
4	10月18日	火	09:00-14:00 コンテスト1日目	アンタルヤ
5	10月19日	水	08:00-18:00 エクスカーション	アンタルヤ
6	10月20日	木	09:00-14:00 コンテスト2日目	アンタルヤ
7	10月21日	金	08:00-18:00 自由時間/ホテルでのアクティビティ	アンタルヤ
8	10月22日	土	09:30-12:00 閉会式 (TK2421 : 19:50 アンタルヤ→21:15 イスタンブール)	機内
9	10月23日	日	(TK198 : 02:20 イスタンブール→19:20 羽田) 解散	

廣江さん 出発前に、羽田空港の近くに集合し、壮行会を行いました。それから飛行機に乗り、イスタンブール空港で乗り換えて、トルコ南部のアンタルヤに向かいました。会場に着いたら、開会式があり、2日間がコンテスト、合間に観光やアクティビティなどもはさみ、最後に閉会式で終了です。帰りも同じルートで帰国しました。

山口 EGOIもJOI（情報オリンピック）と同じで、Day1とDay2の2日に分かれていて、間に必ず1日クッションがあります。このクッションの日に、コンテストのDay1への意見な

どがあれば、ここでアピールすることができます。大会中の不利益や評価に対して、本当はこうして欲しかったなど、伝えることができますよね。コンテスト上では大切なことですが、選手としては、アピールがなければ、ゆっくりできて楽しい日になります。

廣江さん 今回は、京都大学の戸高くんが団長を務めました。副団長は、東京大学の米田くんです。今回の代表選手は、高校1年生の藤井さん、高校2年生の山下さん、高校3年生の大野さん、高校2年生の飯島さんの4名です。



左から、高校1年生の藤井さん、高校2年生の山下さん、高校3年生の大野さん、高校2年生の飯島さん

10月16日 会場に到着



アンタルヤ空港に到着。他の乗客は半ズボン。



アンタルヤ空港で、ラゲージが出てくる場所がサメのモチーフに。



会場となったホテル



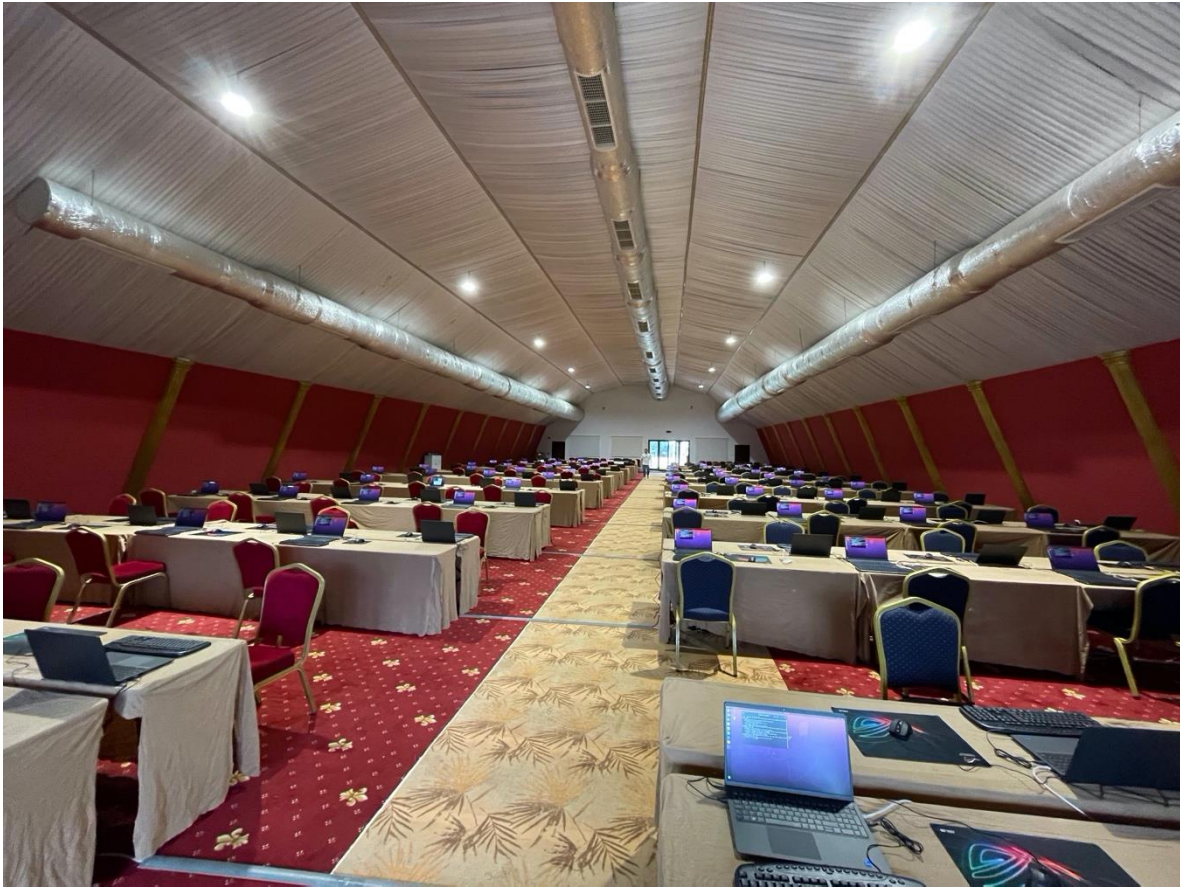
ロビーから続く、ビュッフェ形式のレストラン

山口 ホテルはすごく豪華で綺麗で広がったですね。エントランスの手前がビュッフェ形式のレストランになっています。右側の方に机がちらっと見えますが、ほぼ三食ここで食べましたね。



ビュッフェレストランで

10月17日 プラクティスセッション



コンテスト会場

山口　こちらがコンテストの会場ですね。情報オリンピックも同様ですが、1人に1台コンピュータが割り当てられて、コンテストを戦っていきます。会場自体はJOIなどに比べるとやや狭かったのですが、パーソナルスペースの広さは十分でしたね。



飯島さん。右にはマスコットのぬいぐるみを置いています。

山口 飯島さんがさっそく頑張っていますね。自分のキーボードを持っていくことが認められているので、いつも使っているキーボードを挿してやっているところですね。

廣江さん コンテストの前に試せるのはいいですね。

山口 マスコットもちゃんと置いてありますね。JOIでもぬいぐるみを持ってくる方は多いのですが、EGOIのぬいぐるみは大きかったですね（笑）。



ホテル専用ビーチがあって、すぐに海へと行けます。



海にも少し入ってみました。

10月17日 開会式



開会式がスタート

山口 開会式の会場ですね。あいにくの雨でした。

廣江さん すぐに雨具のポンチョを配ってくれましたよね。



山口 トルコのダンスを見せてもらいました。リズムも特徴的でした。それから参加した各国の紹介をしてくれました。



日本の紹介がありました



会場は大盛り上がり！

夜は団長と副団長が翻訳作業



山口 コンテストの前日の夜は、各国の団長役員と呼ばれている人たちが一箇所に集まって、翻訳作業がありますね。

廣江さん そうですね。

山口 コンテストで使われる問題は英語なので、各国それぞれ言語が違うので、自分たちの言語に翻訳をします。

廣江さん 翻訳と聞いていたので、言葉を訳すだけの作業だと思っていたんですが、問題文に有利不利がないか、差別的な表現がないか、細かく確認するファイナライズ（確定作業）という作業を行いました。公平な競技を世界レベルでやることの大変さを知る、いい機会になりました。

山口 公平性や問題のクオリティを維持しようとする強い意志を感じましたね。問題を作って提案している、サイエンスコミュニティの科学院と呼ばれている人たちの意欲もそうですし、役員の人たちも一つひとつの表現に対し、強い意見を持って、フェアに議論をしていましたよね。

廣江さん お互いへのリスペクトがあってこそ成り立つものだなと感じました。

山口 廣江さんもここで翻訳をしていましたよね。

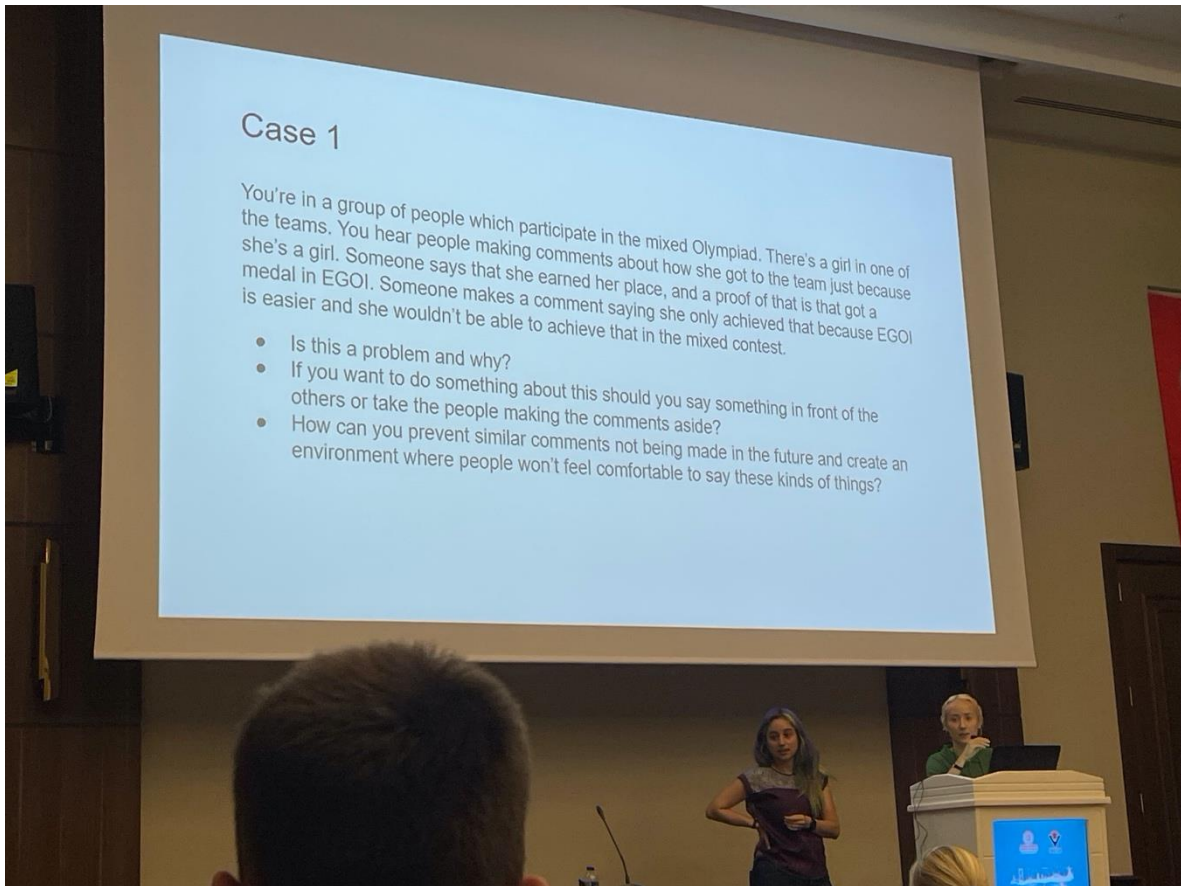


翻訳作業中

山口 後ろで頭を抱えている人がいますね。困惑しながら頑張っているのが伝わってきます。

廣江さん これはもう朝なんです。

10月18日 コンテスト (Day1) とディスカッション



廣江さん こちらの写真は、情報の分野における女性のあり方についてのディスカッションに参加したときのものです。ケーススタディをやっていたのですが、そのスライドです。

山口 どんなことを議論していたのですか？

廣江さん 女性に対するハラスメントをどう防ぐか、またそこに自分が居合わせた場合、どう対応するか、ということ、男性も含め各国でディスカッションしました。

山口 日本でもよく議論されていますが、廣江さんの印象はどうでしたか？

廣江さん 私は、文化背景が左右すると思ったので、各国によって違うと感じました。実際にあった議論が、あいさつでハグをすることが一般的な国と、そうでない国があり、ハグをハラスメントととるか、ただのあいさつととるか、という議題で、意見の食い違いがありました。

山口 興味深いですね。

廣江さん 最終的に、嫌悪感を抱く以上は、ハラスメントと取られてもおかしくないという意見が大半を占めました。

山口 コンテストそのものに対する議論だけでなく、その周辺の状況についても議論が行われますよね。

廣江さん そうですね。文化的な背景も考慮しながら、議論を進めていました。

10月19日 エクスカーション（コンテストはお休み）



山口 エクスカーションでポートトリップに行きましたね。ボートにボードゲームなどが置いてあって、自由に遊べました。いろんなチームの人たちと交流できた瞬間でしたね。

廣江さん 半強制的に同じ場所に集められて、交流する機会はあまりないですね。

山口 各国の選手と交流することはすごく大事だと思っています。こういうところで友達ができるのはとてもいいですね。

10月20日 コンテスト (Day2)



山口 この日は天気が良くて綺麗ですね。朝からプールに入れるくらい、快適な温度でしたよね。



廣江さん コンテスト2日目が終わった後ですね。

山口 コンテストの会場は、プラクティスの間は私たちでも入れますが、コンテストが始まると、終わるまでは中には入れないので、コンテスト最中の写真はないんですよね。

夕飯は「トルコデー」

山口 この日の夕飯はトルコ料理でしたね。

廣江さん ビュッフェも基本的にはトルコ料理がでますが、この日はトルコの伝統的な料理が多く並びました。



トルコの伝統料理デー

山口 これはピザのようなものを作っていますかね。

廣江さん そうですね。薄く焼いたナンのような間に、チーズがはさまっていました。



トルコの伝統菓子

廣江さん こちらはトルコの伝統のお菓子です。ピスタチオを使っています。



大道芸のパフォーマンス

廣江さん 海辺にあるステージで、毎晩イベントを行っていて、夜に観に行きました。大道芸がすごかったですね。



廣江さん これはプライベートビーチで、トルコ工科大学の学生さんと話していたときの1枚です。トルコと日本の理工学系における女性についての話をディスカッションしていました。トルコでも理工学分野には女性が少ないそうで、メリットやデメリットの話を知ることができました。聞いていた日本の選手たちは、理工学系の大学に進もうかなという話もしていたので、参考になったんじゃないかと思います。

山口 廣江さんとしては、トルコと日本の違いなど感じましたか？

廣江さん トルコは理工学系への女性の進出に対し、国が力を入れているんだなと感じました。

山口 今回ヘルプしてくれたチームガイドの方は、女性が多かったのですが、みなさん理系の大学生で、かつ意欲的でしたよね。

廣江さん そうですね。あと、少し話がそれますが、トルコのみなさん、日本文学に興味を持ってくださっていて。「太宰治読んだよ」とか「夏目漱石いいよね」とか、教えてくれました。私たちが知らないことなども知っていて、ちゃんと自国のことを勉強しなくちゃなと思った瞬間でした。

10月21日 エクスカーション&観光デー

廣江さん 2回目のエクスカーションは、バスに乗って、ローマ時代の遺跡を見に行きました。



ローマ遺跡を観光

山口 地中海の周りには、ローマ帝国のときの遺跡があちこちに残っていますよね。ローマの遺跡って、ローマにしかないみたいな思い込みがありますが。



ガイドさんと公園でランチ

廣江さん 公園で、一人ひとりに配られたサンドイッチのお弁当を食べました。リンゴがまるまる入っているのが、日本とは違うなと思いました。



廣江さん モスクにも行きました。ヒシャブできちんと髪も隠しました。ガイドさんが、「私たちの宗教に敬意を払ってくれてありがとう」と言ってくれたのが印象的でした。



廣江さん 現地のスタッフさんが、日本の選手に好意的で、日本語のコメントと共にSNSにアップロードしてくれました。嬉しかったです。



山口 こちらはコンテストの結果が出ているところですね。結果がフェアだったかどうか、各国の役員の投票が行われました。どこの国の選手を何メダルにするかもここで決められていますよね。

10月22日 閉会式



閉会式でみんなで写真撮影



前方にはトルコ政府の要人が座っています

廣江さん 閉会式には、トルコ政府の要人の方がいらっしゃって、大会へ対する注目度を感じました。政府の方のあいさつでは、女性の情報系への社会進出をサポートしていくという話がありました。



山下さんは、右から5番目

山口 メダリストが表彰台に呼ばれています。銅メダルの山下さんが壇上に上がっていますね。



右から3番目が大野さん

廣江さん こちらは銀メダルの大野さんです。



みんなで記念撮影



閉会式後に、各国の選手にお土産を配りました。

山口 各国の選手にプレゼントを配っていますね。プレゼントを交換するのも、情報オリンピック系の文化のひとつですよ。

廣江さん 会話のきっかけになる、いい文化ですよ。



EGOIのポーズ

廣江さん 閉会式が終わって、バスに乗る前に、パネルの前で写真を撮りました。山下さんの「E」のポーズが大変そうですね。



修了証書をもらいました。



とてもよくしてくれたガイドさんたち。バスまで送ってくれました。



廣江さん 飛行機に乗るところです。みんなやり切った顔をしています。これで以上になります。

山口 EGOIの全体の雰囲気少しでも伝わればいいなと思い、このレポートを企画しました。ぜひ選手の皆さん、来年のEGOIはスウェーデンで7月に予定されていますので、ご参加いただければと思います。それでは廣江さん、今日はありがとうございました。

廣江さん ありがとうございました。

【インタビューを終えて】

今回は、普段の先輩のお話をお伺いするのではなく、ヨーロッパ女子情報オリンピック（EGOI）2022 トルコ大会の様子を伺いました。私としても初めてのオンサイト大会だったので、どうなっていくのか不安もありましたが、廣江さんをはじめ、団長副団長の力があって、出場選手達が日頃の力を発揮できたのだと思います。

オンサイトであるトルコ大会では、コンテスト本体はもちろんのこと、様々なアクティビティが用意されていて、選手もとても楽しそうでした。このアクティビティ以外にも、細部にわたって我々を歓迎してくださる配慮が感じられ、一つひとつに頭が下がる思いでした。

今後、この動画を通し、EGOIへの進出を目指すみなさんが少しでも雰囲気を感じて頂ければと思っています。

最後に、この大会を用意くださり、日本選手団をご招待くださり、歓待して下さった方々に、深く心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。（山口）

次回もお楽しみに。